

【記念誌発刊にあたって】



豊かな自然環境に恵まれた「水と緑のまち」東郷町は、明治三十九年五月十日に諸和村と春木村が合併し、東郷村となつて以来、本年度百周年を迎えました。

東郷村誕生時は三千三百九十八人だった人口も、昭和四十五年の町制施行時に一人を超え、本年一月には四万人に達し、良好な地理的条件に加え、恵まれた自然環境や子育て環境の中で、大都市近郊のベットタウンとして発展してきました。

この記念すべき年に、これまで幾多の紆余曲折を乗り越えてきた多くの先人たちに感謝するとともに、みんなが安心・安全に暮らせるまち、住んでよかつたといえるまちづくりを目指し、町民の皆様と行政が共に考え、力をあわせて様々な施策に積極的に取組み、新たな時代に相応しい息吹を加えることが私どもの使命であると考えております。

まちづくりは夢づくりと捉え、愛知池周辺の豊かな自然の活用や高齢者の語り場づくりなど、夢あふれるふるさとづくりの実現のため、町民の皆様と行政がしっかり手をたずさえて、夢を求める東郷の新たな歴史を歩んでいきたいと思います。

東郷町長 川瀬 雅喜